

広島市植物公園 見どころ案内

ヤマアジサイ (アジサイ科)

日本原産(福島県から四国・九州の主に太平洋側)。外側の花は装飾花と呼ばれ、種子ができることはありません。

バラ園

春バラのシーズンも終盤となりました。バラ園では、あたり一面を漂うバラの芳香と宮島を一望できる眺望をあわせてお楽しみいただけます。

ハコネウツギ

(スイカズラ科)

開花中に色素が変化し、白、ピンク、紅色と3段階変化します。株全体で3色が同時に見られるのが魅力的です。

グランマトフィルム

キナバルエンセ (ラン科)

世界最大のランと言われるタイガーオーキッドの近縁種。花茎は1 m以上伸び、ボルネオ島原産のとても珍しいランの原種です。

マリーゴールド (キク科)

メキシコが原産。フレンチマリーゴールドとアフリカンマリーゴールドの2種類を植えています。

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示がしてあります。

2024年6月1日

通巻第624号

展示会のご案内

アジサイウィーク (5/25~6/30)

① 展示資料館

趣味のポタニカルアート展

(5/11~6/5)

初夏の小品盆栽展(6/8~6/10)

② 展示温室

セントポーリアとイワタバコの

仲間展 (5/29~6/9)

③ 屋外展示場 (5/25~6/30)

アジサイ展



ウツボグサ (シソ科)

花穂が弓矢を入れる鞆(うつぼ)に似ていることから名付けられました。

ストレプトカーパス

ミケルモレイ

(イワタバコ科)

発芽後2枚のうち1枚の葉だけを伸ばし続けます。大きく成長した葉が魅力的です。

サツキ'大盃' (ツツジ科)

日本最大級のサツキの盆栽が開花しています。樹齢は450年以上と推定されています。

★大温室で見頃の花 ストレプトカーパス、スパティフィルム、アンズリウム、ビョウタコノキ、タコノキ(実)、ハマオモト、サガリバナ、ナンヨウザクラ、モンパノキ、カエンボク、ブーゲンビリア、タッカ シャントリエリ、洋ラン各種、パニラ、カカオ、[ベニノキ、ユーゲニアメガカルパ、コショウ、ソーセイジノキ、コーヒーノキ、トーチジンジャー、バナナ各種、パパイヤ、チューインガムノキ、黄金ココヤシ、テリハバナンジロウ(以上は実)]、オオミノトケイソウ、ツンベルギア、ベニバナトケイソウ、メディニラ各種、マツリカ、アリストロキアトリカウダタ、ゲンバイクサギ、ヒメアリアケカズラ、ヤエサンユウカ

✿ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ✿

✿ 6/1、6/25、午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ✿